

参加体験型イベント「いくの未来お店バトル」に協力 ～ 地方の特産品・地元の産品を24チームに分かれて販売 ～

大阪シティ信用金庫（本店 大阪市、理事長 高橋知史）は、11月12日（土）に行われた生野本通中央商店街振興組合主催の「いくの未来お店バトル」開催に協力しました。

本イベントでは、商売を通じてヒト・モノ・カネの流れなどを学ぶ機会を提供するとともに、商店街のにぎわいを創出することを目的としています。昨年までは「子どもお店バトル」の名称で開催、小学生と高校生がチームを組み、地方の特産品を販売し、その利益を競っていました。

今年からは、名称を「いくの未来お店バトル」と改め、授業の一環として参加した義務教育学校の7年生（中学1年生）全員と、サポート役の高校生参加希望者合わせて140名で24チームを構成し、地方の特産品および生野区内の産品を販売し、その利益を競いました。

当金庫は連携している在阪事務所うち21道県、および生野区内の当金庫取引先事業所3社に協力を要請して特産品等の仕入れなどの店舗運営に協力し、当日は模擬金融機関として売上金の入金や両替などに対応しました。参加者には店舗運営に伴う販売やお金の管理の体験を通し、「商売の面白さ、お金の大切さ」を学んでいただきました。

当金庫は今後も「信頼で地域とつながる」のスローガンのもと、皆さまから愛され信頼される金融機関を目指し、地元大阪の発展に貢献してまいります。

記

1. 日時 令和4年11月12日（土）9時～13時
2. 場所 生野本通中央商店街（大阪市生野区）
3. 主催 生野本通中央商店街振興組合
4. 参加者 140名（大阪市立義務教育学校生野未来学園、
大阪府立大阪ビジネスフロンティア高等学校）
5. 出店数 24店舗（北海道、岩手県、栃木県、群馬県、新潟県、
長野県、山梨県、石川県、福井県、三重県、
島根県、岡山県、広島県、徳島県、香川県、
高知県、佐賀県、熊本県、大分県、宮崎県、
鹿児島県、生野区内の事業所3社）



多くの商品が並ぶ「お店」の様子



両替に対応する当金庫職員（右）

以上



本件はSDGs（持続可能な開発目標）の考えに基づいた取り組みのうち、右記の目標に寄与するものです。

